

取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク・勤務間インターバル・選択的週休3日制)

企業名：株式会社アルファ技研	所在地：北海道
社員数：44名	業種：学術研究, 専門・技術サービス業



働き方・休み方改善の取組目的：

ワークライフバランスの確保・向上。
健康の増進。

働き方・休み方改善の取組の概要：

<現在の取組>

○在宅勤務

「小学生以下の子供をもつ家庭、通勤に30分以上を要する社員」の条件を付した上で、リモート方式によるテレワークを導入。

○時季を限った労働時間の削減

毎年4月1日から6月30日までの3か月に、就業時間を30分短縮（短縮時間は有給扱い）し、年間の労働時間の抑制と、ワークライフバランスの向上を図っている。

○計画有休制度の継続的な実施

事業年度毎に、あらかじめ有休取得を5日間と定めて、年度初めに社員からの申出により休日を設定し、グループウェアのスケジュール表で公開している。

それにより、業務行程や人員の配置をたてやすくし、業務の効率化を図るとともに、ワークライフバランスの向上に資することが期待される。

できるだけ連続（例えば、土日をはさんで取得するなど）して休むことをすすめている。

<今後の課題・取組>

リモートワークの推進・適用の拡大や、社員のスキルアップによる業務効率（生産性）の向上、長期連続休日取得の一層の取組に課題を感じている。

今後はリモートワークの推進・適用の拡大に取り組む予定である。

現状とこれまでの取組の効果：

○所定外労働時間数

<取組前>（月平均） 38.9 時間（R1 年）

<取組後>（月平均） 32.1 時間（R2 年）

○生産性の向上

計画有休や労働（就業）時間の短縮で、実質的に生産性が向上している。

○柔軟な働き方（時間・場所）

テレワークの導入により、制約が緩和され、柔軟な働き方が可能になっている。

○年次有給休暇の取得状況の変化

<取組前>年間平均取得日数： 10.6 日／取得率： 56.2%（H25 年）

<取組後>年間平均取得日数： 15.4 日／取得率： 79.5%（R1 年）

(R3.3)